

## 児童の様子(小学部1組5名)

- 給食前後の台拭きに取り組んでいる。
- 布巾を丸めて拭いたり、手元を見ずに同じ箇所をなでるように拭いたりしている。
- 布巾の準備や片づけ、汚れに気づいて拭くことなどは不十分。

## 本題材における「育成を目指す資質・能力」との関連

| 知識・技能            | 思考力・判断力・表現力等 | 関心・意欲・態度             |
|------------------|--------------|----------------------|
| ○掃除に関する基礎的な知識・技能 | ○清潔・不潔に気づく力  | ○自分の身の回りを清潔にしようとする意識 |

### 題材の目標

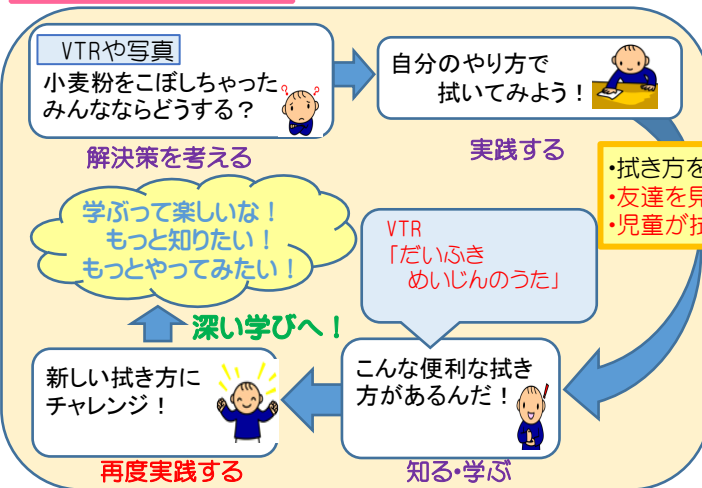
- 台の拭き方や、布巾の準備・片づけの仕方、手順を理解する。
- 自分の机をきれいにするよさを知り、汚れた箇所を意識して拭く。
- 友だちや教師の拭き方を見合う活動を通して、自分の拭き方をより良くしようとする。

### 題材の計画

| 1期(9月)            | 2期(10月・11月)        | 3期(12月・1月)           | 4期(2月)            |
|-------------------|--------------------|----------------------|-------------------|
| どちらかな？きれいな机？汚れた机？ | 机の上手な拭き方にチャレンジしよう！ | 布巾の準備(しぼり)にチャレンジしよう！ | 給食台の台拭きにチャレンジしよう！ |

## アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫(主体的・対話的で深い学びのために)

### 主体的な学びについて

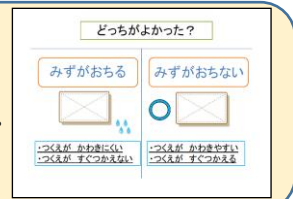


### 対話的な学びについて



### 深い学びのために

- 2つの「振り返り」の時間の設定
- ①導入で、前回までの学びを確認。
  - ②終わりに、本時の学びをまとめとして再確認。



## 結果

### アクティブ・ラーニングの視点に立った授業実践より

- △「清潔と不潔に関する意識の未熟さ」  
→○掃除によって清潔にする良さへ気づく。
- △「汚れに気付かず、手元を見ずに拭く様子」  
→○自ら汚れを探しながら拭く姿が見られる。
- △「机の中心や同じ箇所をなでるような拭き方」  
→○「だいふきめいじんのうた」を歌いながら手順を意識して拭く姿が見られる。
- △「友だちに注目することの難しさ」  
→○友だちの拭く姿を模倣する児童が見られる。
- △「布巾の絞り方や程度がわからない」  
→○濡れ具合の異なる布巾の比較から、しっかり絞ろうとする姿が芽生える。

## 考察

### 主体的な学びについて

- 授業の流れにおける工夫  
児童が自ら考え、学ぶための「仕掛け」作りが重要。
- 関心の高い「音楽」の活用  
楽しく手順を学ぶために、「歌」による指導が有効。

### 対話的な学びについて

- 友だちの良さに気づき、学ぶための手立て  
・友達の取り組む姿へ注目を促す場面の設定。  
(考えを発表する場面、友だちに注目する場面)  
・児童の言語活動を支える、教師による「言語化」の効果。  
(発表者の良い点を明解に伝え、学び合いを活性化。)

### 深い学びについて

- 「振り返り」の時間が、学びの定着、深まりへ  
学びが断片的になりがちな点をフォローし、発展的な学びへ。

## まとめ 「台拭き」から様々な掃除の展開へ！

### 学習前は…



汚れがあってもそのまま  
机の中心のみ拭く様子



清潔・不潔の学習  
掃除の手順の学習

### UP！



清潔・不潔に気づく力  
台拭きの基本的な力

すみずみ…  
大きな四角  
を拭いたら♪



日常の掃除場面での  
意識やスキルが成長！

### 今後は…



教室の隅々を意識した  
拭き掃除や掃き掃除へ！

落ちてる  
ゴミも自分  
から拾うよ